

復活祭おめでとうございます



藤女子大学 聖マリア聖堂の「復活のイエス像」



「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」

新入学生の皆様、ご入学おめでとうございます。期待と不安の入り混じった気持ちで始まった4月、もう新しい大学生活に慣れてきたでしょうか。

藤女子大学はキリスト教精神に基づく大学です。皆さんにとって、クリスマスは馴染み深い祝日でしょうが、復活祭について何かご存知でしょうか？

実は、キリスト教にとって、クリスマスよりも復活祭の方が重要な祝日です。イエス・キリストが十字架に架けられて死去され、お墓に葬られて三日目に、嚴重に見張りの兵士たちが番をしていたにもかかわらず、墓は開き、中は空っぽになりました。愛する師の遺体が盗まれた、と思い込んだ弟子たちの前に、突然、イエスが姿を現します。

このようなことが何度もあり、弟子たちはイエスが何度も予告された通り復活されたこと、そして彼らと共にいてくださることを確信するに至ったのです。彼らは臆病な弟子たちから、全く

別人のような強い弟子たちに変化します。あらゆる迫害や拷問にもかかわらず、自分の命さえも惜しまずに、「十字架に架けられたイエスは、よみがえり、生きて私たちと共におられる」と宣言し続けました。

もし、イエスの復活がなかったならば、イエスの十字架刑の場から恐ろしく逃げ去っていた弟子たちは、そのまま自分の故郷に逃げ帰り、イエスの死と共にすべては終わってしまったでしょう。

しかし、実際に起こったことはそうではなく、この弟子たちの無力な小さな群れが、50年もたたないうちに、ローマ帝国の平和を揺るがし始めました。イエスがよみがえったという信念は、次から次へ広まって行き、ローマ帝国の皇帝たちが彼らの信念を消滅させようと、あらゆる残酷な死の脅威を振りかざしましたが、結局無駄でした。多くの男女が、よみがえった主を否認するくらいなら、死ぬ方がましだと思って、命を捧げました。「私は世の終わりまで、いつもあなたたちと共にいる。」(マタイ28:20)

復活祭は移動祝日となっており、毎年春分の日の後の最初の満月の次の日曜日になっています。

今年は4月21日です。

HAPPY EASTER!

聖書のことば：

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」(ヨハネ20:19-21)

World Youth Day in Panama

英語文化学科4年 角谷海音

1月16日～31日、初めてワールドユースデー (WYD) に参加しました。WYDとは、世界中から100万人以上の18～35歳の青年が参加する、カトリック教会によって開催される国際イベントです。教皇が主催し、2～3年毎に開催されます。今回の開催国は中南米のパナマ共和国でした。滞在方法はホームステイで、カテケーゼス (日本人の青年同士での学び合い)、エコ活動 (植樹、障がい者との交流など)、教会巡り、野外ミサなどを行いました。現地はとても賑やかで、期間中はパナマの国全体が大盛り上がりでした。

WYDを見て感じたのは、暮らしの状況や背景が違っていても神によって世界の人々と心をつなげることができる、自分もこの世界で平和のために生かされ導かれる、エネルギーと可能性に満ちた今を生きる若者の一人なのだということです。また、少し個人の話ですが、パナマへ出発する約二週間前に4ヶ月間のカナダ留学を終えたばかりだったので、WYDは留学を通して学んだことを再び思い返し、識別するタイミングにもなりました。留学では、自分の未熟さや、神様の恵みと愛情を感じたり、自信と辛抱強さが身についたり、自分の行動と祈りが神様に届いたと感じた経験があったり、新たな価値観や深い友情を学んだりしました。WYDで心に響いてくる言葉によって、それらの経験で得た自信や勇気がさらに自分のものとなりました。

今は、これらの経験を単なる一度きりの過去の思い出に終わらせたくなく、これからも時々パナマで聞いた教皇様や神父様のお話を聞き返して、その時の自分の感情に呼びかけて来たものを新鮮なものに保ちながら、次回のWYDでも、人間的にさらに成長した自分を発見できるようにしたいです。

もしこれを読んでいる方の中にWYDに興味がある方がいたら、参加することをお勧めします。

公開講演会のご案内

カトリックセンター主催で、次の通り公開講演会を開催いたします。どなたでも多数ご参加ください。

日時：2019年6月13日 (木) 14:30～16:30

演題：「福音と私たち」

講師：古里慶史郎神父様 (フランシスコ会、長崎在住)

場所：大学北16条キャンパス 聖マリア聖堂

多数の皆様のご参加をお待ちしています。入場料は不要です。

勉強会のご案内

カトリックセンター主催で、下記の通り勉強会を開催いたします。どなたでも多数ご参加ください。

原則 毎月1回 (掲示板でご確認ください)

指導：佐久間 力 神父様 (カトリック月寒教会)

場所：北16条校舎 2F iLearning Space

テーマは皆様のご要望に合わせてすることができます。

教皇フランシスコのTwitter



Pope Francis @Pontifex

Women make the world beautiful, they protect it and keep it alive. They bring the grace of renewal, the embrace of inclusion, and the courage to give of oneself.

Only those who leave behind their earthly attachments in order to set out will find the mystery of God.

How do we not judge, not condemn, and forgive? "Give and it will be given to you": be generous in giving. Not only material alms, but spiritual alms too: spend time with someone in need, visit someone who is sick, offer a smile.

ミサへのお誘い

聖マリア聖堂において、下記の通りマルクス学長司式によるミサを行いますので、どなたでもご参加ください。

日時：4月25日(木) 12:30～13:00

5月30日(木) 12:30～13:00

6月27日(木) 12:30～13:00

7月25日(木) 12:30～13:00

学生・教職員・卒業生の皆さまのご参加をお待ちしております。

聖歌隊員の募集

本学では、昨年聖マリア聖堂が完成したことを機に、聖歌隊を結成しました。学内の宗教行事に際して、美しい聖歌で花を添えていただいています。

入学式でもアヴェ・マリアを歌っていただきました。歌うことの好きな方、ハーモニーを楽しみたい方、宗教音楽に興味のある方、など、多くのご参加を期待しています。

練習は原則週1回1時間程度。ご指導は藤中高の細貝則子先生です。



興味のある方は、学生課の鷲足までご連絡ください。